

お知らせ

「東京の自然に暮らす生きものTシャツ」販売開始!

世界的大都会、東京。巨大なビルがそびえ立つ23区から西へ、奥多摩ではそのイメージとは異なる大自然が広がっています。そんな豊かで多様な東京の自然がポップなデザインのTシャツになりました。

アウトドアブランド mont-bell 製の吸水速乾に優れた素材で、登山やハイキング、自然観察等、奥多摩での活動にも最適! 東京の大自然で見たもの、感じたものを、このTシャツと一緒に持ち帰りください。奥多摩ビジターセンターの Nature Shop にて好評販売中!

オリジナルTシャツ販売!



XS ~ L サイズ 各 3,000 円

ちちたまニュース

秩父多摩甲斐国立公園は2021年(令和3年)7月10日で指定71周年を迎えました。しかし、70年以上たつ今も、国立公園としての認識はまだ不足気味... 今後も、魅力の発信、マナーの向上に向けてがんばります!

東京都の自然公園にあるビジターセンターが連携して、自然公園ルールを広めていく広報を行っています! ぜひ奥多摩へ来た方、来られる際にはご一読をお願いします。



おくたん

1号

2021
夏

Oku-Tan No.1, Summer, 2021

奥多摩

×名所

本当の見どころ



みんなの知っている
あの名所
ぜひココを見て!



Twitter や Facebook でも情報発信中!



奥多摩ビジターセンター
〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川 171-1
TEL: 0428-83-2037
URL: <https://www.ces-net.jp/okutamavc/>
指定管理者: (株)自然教育研究センター(略称 CES)



ほくはおくたん。
奥多摩の妖精さ。

地質

やそこに生える植物が 名所をつくっていたんだ



石灰岩のかたまりにできた空洞！ につばら しょうにゅうどう 1. 日原鍾乳洞

日原鍾乳洞は、東京都天然記念物であり、関東有数の大きな鍾乳洞で年間 10 万人が訪れる観光地です。鍾乳洞は石灰岩の空洞部分です。石灰岩の主成分は炭酸カルシウムで、酸性の液体に溶ける性質があります。二酸化炭素を含む雨や地下水が地表や割れ目を流れ、岩を溶かします。

水の流れに砂や土砂が加わり、岩を削り、大きな空洞が作られ、鍾乳洞ができているといわれています。大地の動きと、水や土砂の流れが、地下迷路を作り出したんですね。自然に作り出されたとは思えないくらいの造形がすばらしいです。

大地を川の流れが削ってできた 自然の芸術 はとのす けいこく 2. 鳩ノ巣溪谷

鳩ノ巣溪谷の付近は多摩川で最も狭まった岩盤地であるといわれています。固い岩石（チャート）などの部分が、川の流れに削られつつも不思議な形で残り、流れの美しさを作り出しています。かつて多摩川へ木材を流し、下流へ運んでいた時代に筏師泣かせの難所であった場所も、現在は流れの複雑さと岩、まわりの森林美を楽しむ散策路として人気です。



ご神体が石灰岩！ しらひげじんじゃ 3. むかしみち 白髭神社

白髭神社のご神体は、石灰岩の大きな断層で、見える部分は 5 メートルほどですが、全体は高さ 30 メートルほどであるとされています。断層がこんなに見えている場所も珍しいです。昔から、神様のいるとされる岩石、もしくは岩そのものをご神体として信仰する対象となっている場所も多く、そのひとつと思われます。そのキレイな断面と迫る大岩の存在感、ぜひ体感してください。



コラム column



石灰岩と独特の植物

石灰岩にはキンモウワラビやクモノスシダなど石灰岩質を好む、独特の植物が生えます。石灰岩があることが植物の多様性を豊かにしていると言えます。



コラム column

探してみよう石灰岩！

- 氷川小橋の下の河原によくある
- 石でこすると傷がつく

日本の各地にある石灰岩質は、遠い昔にサンゴやプランクトンの遺骸が積み重なり、地殻変動で移動や隆起（盛り上がり）したものです。

※観察した後は、もとの場所にもどしてね



コラム column

青梅線は、石灰岩を運ぶために敷設されました！

石灰岩は日本で自給できる数少ない鉱物のひとつで、その約半分がセメントとして製鉄などに利用されます。奥多摩は石灰岩の地質が多く、産出する石灰岩を効率よく運ぶため鉄道が建設されました。それが、今の青梅線です。1894 年（明治 27 年）立川～青梅間に日向和田石灰の搬出を目的として開通した青梅線は、二俣尾、御嶽（みたけ）と延伸し、1944 年（昭和 19 年）に氷川（今の奥多摩駅）まで伸びました。

